平川ねぷたまつりの課題とこれから

～より魅力ある祭りへ、さらなる発展を目指して～



1. 現状と成果（観光入込客数は過去最多）

観光入込客数（2日間）



SNSやメディアでの発信強化により、平川ねぷたの知名度が向上し、多くの観光客が来場しました。

2. 令和6年度の運行における主な課題

① 運行時間が長すぎた

- 有料観覧席の一部のお客様が、「世界一の扇ねぷた」を見る前に帰ってしまった。



② 団体間の間隔や隊列のばらつき

- 運行団体の間隔が大きく開いた。
- 待機場所から出発地点までの移動で団体間に差が生じた。
- 運行中のパフォーマンスにより適切な間隔が保てなかった。



③ 観光客へのサービス・インフラ整備

- トイレ、喫煙場所、電柱の地中化などは順調に進み、情報発信も強化。
- 今後もさらなる改善が必要。

3. 今後の運行改善の取組（議員提案を含む）

運行の改善策

① 運行時間を2時間以内に

（例：19時～21時）

お客様の満足度向上

② 運行コースの見直し

（平賀駅前 → イオンタウン平賀）



③ 団体間の距離・隊列の長さのルール化



- 審査の採点対象に
- 規定位置の通過時間・間を設定
- タイムキーパーの設置を検討

祭りをさらに盛り上げる提案（議員提案を含む）

① まつり期間を4日間に延長

（前夜祭・本祭・後夜祭など）

② イオンタウン平賀に大型ねぷたの常設展示（小屋の建設）



- 観光・にぎわい創出
- インスタ映えスポット
- 子どもたちの写生・研究にも

③ 前夜祭：ねぷたばやしコンテスト



- 伝承・技術向上
- 練習の成果発表の場

④ 後夜祭：ねぷた大賞ねぷた＋盆踊り大会



- 尾上音頭など地元民謡の復活
- 流し踊りの普及

4. 一般質問での主な質疑応答

Q1 運行時間が長過ぎる原因と対策は？



有料観覧席のお客様が世界一の扇ねぷたを見られずに帰ってしまった。運行時間が長過ぎる原因と対策について、市の見解を伺う。



団体の間隔が大きく開いたことや、待機場所から出発地点までの移動で差が生じたこと、運行中のパフォーマンスの影響などが原因と考えています。団体と協議し、間隔管理やルールの見直しなどにより、運行時間の短縮を図っていきます。

Q2 観光入込客数を増やすための今後の取組は？



過去最多の7万6,000人の来場は大変うれしい。SNS等の情報発信の継続、参加団体への支援、安全な観覧体制の整備、スムーズな運行により、さらに観光入込客数の増加につなげたい。

Q3 議員からの提案（運行時間2時間、コース変更、ルール化など）への見解は？



運行時間を2時間と定めるものではなく、観覧者に満足いただき、交通規制時間内に終えることを目指します。団体間の距離は現在「30メートル以内」と規則で定めています。運行コースの変更や隊列の長さ、通過時間の設定、タイムキーパーの設置などは、実行委員会やねぷた連絡協議会と共有し、実現の可否を判断します。

Q4 4日間への延長や展示、前夜祭・後夜祭の実現性は？



まつり期間の4日間への延長や、イオンタウン平賀への大型ねぷたの展示、前夜祭のはやしコンテスト、後夜祭の盆踊り大会などの提案について、実現性を伺う。



期間の延長は、運行団体や運営側の人手確保、警備員の確保が大きな課題です。一方で、展示や前夜祭・後夜祭の開催は、誘客や地域経済の効果、おはやしの技術向上、ねぷたの保存継承など様々な効果が期待できる取組です。運行課題の改善策とともに、実行委員会やねぷた連絡協議会と共有し、実現の可否を判断します。